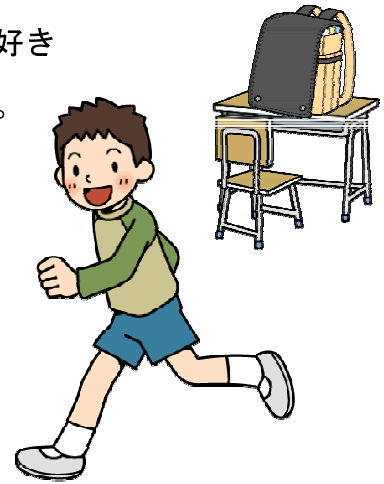


気持ちを切り替えて活動に参加できるように

こんな児童です (小学校3年生)

- ・ 登校後、ランドセルを机においたまま、友達と遊んだり、好きなことをしたりして、宿題の提出や朝の準備が後回しになる。
- ・ チャイムが鳴って授業が始まっても、本を読んだり折り紙を折ったりして、授業への切り替えが難しい。
- ・ 友達に断られたり、いやなことがあったりすると、感情を抑えたり気持ちを切り替えたりすることが難しい。



担任の願い

- ・ 時間になったらやりたいことをやめて授業に参加できる。
- ・ 自分の気持ちを友達や先生に伝えることができる。

通級による指導での実践

◎ 気持ちを切り替える方法を学ぶ

【約束カード】

○授業が始まってもやりたいことがあるときには・・・

- ①先生にどうすればよいか(SOS)を聞けるようにする
- ②落ち着かなくてもたたいたり蹴ったりしない
- ③3つの中から解決方法を選ぶようにする



約束カード (表)

—約束—
① SOS
② 手や足はダメ
③ 3つの中から1つ

解決方法 (裏)

(1) すばやく片付けて 次の時間に続きをする。
(2) さいごに〇〇だけしつら終わる。
③ 先生が、このまま、必ず、すばやく準備をする。

筆箱に入れておく



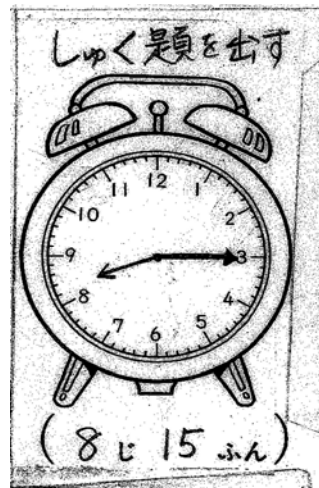
いつでも見られます

◎ 視覚的に提示をして、やることの見通しがもてるようにする

【時計カードの提示（時間を意識させる）】

取組の工夫

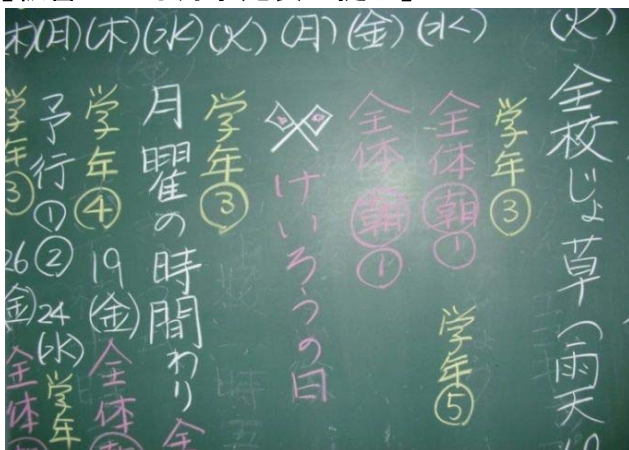
- ・ 登校したときに時計カードを机の上に置き、準備や宿題などを提出する意識をもたせる。
- ・ 気持ちの切り替えができないときも、「何分たったら」「何時何分まで」と自分で時間を約束させる。



★★通級による指導との連携★★

- ・ 通級指導教室で作った約束カードは、いつでも見ることができるように筆箱に入れておき、切り替えができないとき、どうしたらよいかを一緒に確認する。

【板書による月予定表の提示】



明日は運動会の全体練習があるんだな！



取組の工夫

- ・ 時間割変更や急な行事などが入ったときには、黒板にも書くとともに、個別に話をして確認する。
- ・ 学級全体の指示として、時計カードや月予定などを利用する。

成果

- 時計を一緒に見て、「時間が守れたか」「どれくらい遅れたか」などをその都度確認しながら活動させたため、時間を意識して行動するようになってきている。
- 予定を明確にし、あらかじめ何をするか知らせることで、ひと月や1日の見通しをもたせ、分からないことがある場合は自分から教師に聞きにくるようになった。

日課表にそって活動し、持ち物が意識できるように

こんな児童です (小学校4年生)

- ・ 時間を見て行動することが苦手である。
- ・ 持ち物をすぐになくし、大切にしようとする意識が薄い。
- ・ じっとしていることが困難で、姿勢も崩れやすい。
- ・ 集中力が続かず、係の仕事最後まで取り組むことが難しい。

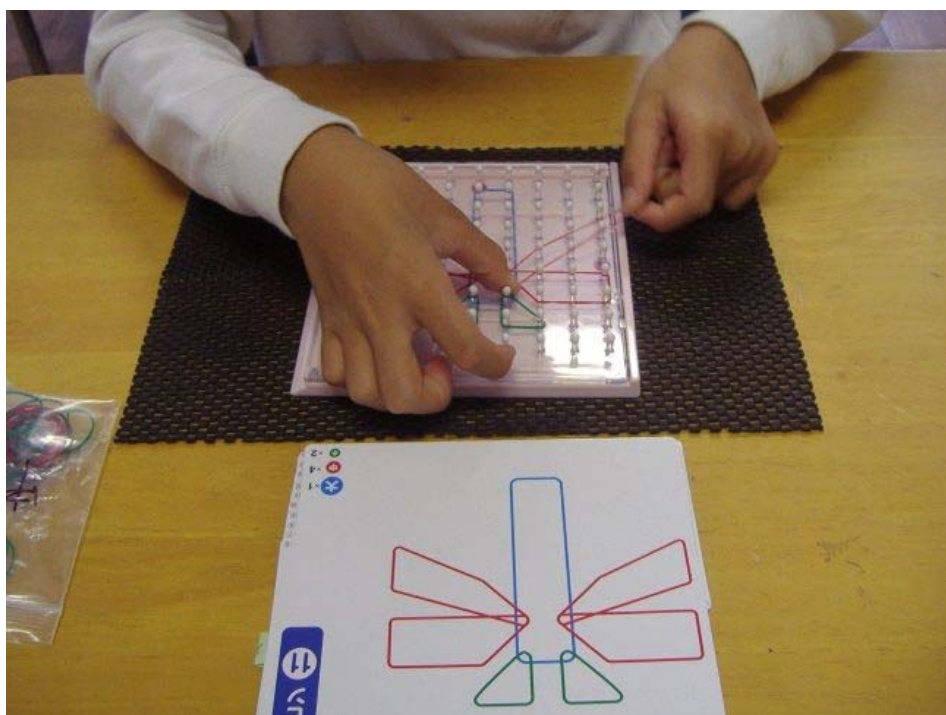


担任の願い

- ・ 時間通りに決められたことができる。
- ・ 自分の物の管理ができる。

通級による指導での実践

- ◎ 活動する場所を片づけ、やるべきことの見通しをもたせる
【パターンボードで図形をつくる】



- ・ 身の周りを整頓させ、不要な物をなくし、やるべきことを明確にさせる。
- ・ 見本を示し、同じ図形になるよう見通しをもって作らせるようにする。
- ・ 集中できる時間を少しずつのばしていく。

通常の学級での実践

通級による指導を生かして

(学びの連続)

◎ 日課表に沿って活動する【時間管理表】

たくさんシール貼れるように、頑張ろうね!

		月	火	水 ^{2/24}	木	金
8時20分までにすること	ランドセルの片付け					
	連絡帳を書く					
	連絡帳を出す					
	宿題を出す					
給食	13時までに食べ終える					
係活動	落とし物					

担任のコメント

保護者のコメント

声をかけてカードがない時こそ、意欲的に行動できるように取り組んで。また、ほめて、伸ばしていきたい。この調子で、進んで出来る様に頑張れる事を原動力に。宜しくお願いします。

取組の工夫

- ・ 管理表ですべき活動を示すことで、先の見通しをもたせる。
- ・ 時間管理表に、落とし物係での活動を位置付け、自分の持ち物への意識を高める。

【「落とし物係」の活動】



取組の工夫

- ・ 友達への呼びかけと同時に、自分の持ち物も確認するようにする。
- ・ 1日に何度も落とし物箱を見るように指示する。

成果

- 朝、学校に来たときに、行うべきことが明確になり、忘れずにできるときが増えている。
- 自分の持ち物への意識が高まり、身の回りの整頓ができるときが増えている。

★★通級による指導との連携★★

- ・ カード（時間管理表）には通級による指導担当教員からもコメントをもらい、意欲を高める。

のりが落ちていました。自分の持ち物をチェックしてください。



教室から出るときは、約束を守れるように

こんな児童です (小学校3年生)

- ・ 授業中、突然教室から飛び出し、どこかに行ってしまうことがある。
- ・ 休み時間が終わっても、教室にもどれないことがある。
- ・ 友達に気になる言葉を言われたり、いやなことがあったりすると、気持ちのコントロールができないことがある。

担任の願い

- ・ 教室から出るときは、担任の許可を得ることができる。
- ・ 自分で時間を決めて、教室にもどることができる。



通級による指導での実践

- ◎ 先生に許可を得てから行動することを学ぶ
- ◎ いやなことがあったときは、その場をはなれるなど、気持ちをコントロールする方法を学ぶ

【友達から何かを言われていらいらするときには】

1 その場をはなれる

2 「落ちつきの①ワン・②ツー・③スリー・④フォー」

- ① 口を閉じて深呼吸する。「許せない」と思っているといらいらがふくらむので、口を閉じ、何も言わずに深呼吸する。
- ② 深呼吸の数を数える。「いち」「にー」と10まで数えたらもとにもどる。数字の形を大きくイメージする。
- ③ 「落ち着け」と自分に言う。
- ④ 気持ちよい風景を思い浮かべる。
(風景はあらかじめ決めておく)



◎ 教室を出るときは、先生の許可を得てから出るようにする

【おねがいカード】

おねがいカード

○ ルール

- ① 一週間に **3回** まで
- ② **自分で** かいて、**自分で** 見せる
- ③ ルールを守れなかったら、おねがいカードを使えない
- ④ ルールを守れたら、() シールゲット!

・なぜ? なので

・どこへ? へ行かせてください。

・何分で? **5分・10分** で3の1にもどります。

・きよかのサイン 日付 年 月 日() 時間目

★★通級による指導との連携★★

- ・ 通級による指導担当教員と、教室から出る条件などについて話し合いながらおねがいカードを作成する。

取組の工夫

- ・ 本人と教室から出る条件を決める。
(「1週間に3回まで」「10分間でもどる」など)
- ・ ルールが守れたら、〇〇シールがもらえるなど、行動を評価する。
- ・ ストップウォッチを児童と担任が両方持ち、同時に時間をはかる。

成 果

- 全職員で連携(連絡)し合うことで、居場所がはっきりするようになってきた。
- 児童と条件を決めることで、教室から出るルールが守れるようになってきた。
- 児童の行動をシールで評価することで、教室を出る回数が少なくなってきた。

